

## JICA は名古屋工業大学とマレーシア工科大学との国際共同研究を採択決定。マレーシアで持続可能なパーム油産業の実現に寄与する。

### 共に「知」を総合する科学技術協力～2022年度採択結果の発表

国際協力機構（JICA）は、今年度「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）※1」として、中部地域において、名古屋工業大学の事業を新たに採択しました。

本事業は、地球規模の環境課題の解決に資する研究となっています。マレーシアでは、パーム油産業から排出されるパーム搾油排水（POME）が水質汚染の一因となっています。このプロジェクトでは、旧来の非効率な POME 排水処理を「エネルギー・資源回収型」の排水処理へ転換することを目指します。具体的には、排水処理に用いる発酵・微生物燃料電池（MFC）・再生水製造に新たに開発する炭素素材・膜素材を適用することで、POME 1 キログラムの廃有機物から 1 キロワットアワーの電力を生み出すことを目標とします。さらに、POME の排水処理から生じた残さ（汚泥・濃縮水など）を肥料化して、現地の農地への還元を促進します。以上の技術開発によって、POME による水質汚染を緩和し、エネルギー・水・資源の循環利用を促すことで、持続可能なパーム油産業の実現に寄与することを目指しています。

大学の先生へのご取材も調整可能です。ぜひ取材をご検討ください。

日本側研究機関	相手国研究機関	事業名	SDGs 項目
名古屋工業大学 研究代表者： 吉田 奈央子 准教授	マレーシア工科大学	材料革新に基づく持続可能なエネルギー・資源・水回収型パームオイル搾油廃水（POME）処理システムの開発 (環境領域)	  

<※「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）」とは>

SATREPS は、外務省と文部科学省の支援のもと、国立研究開発法人科学技術振興機構

(JST)、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) と JICA が連携して実施し、日本の優れた科学技術と ODA との連携によって、開発途上国との科学技術協力、科学技術外交を推進するプログラムです。環境、カーボンニュートラル、生物資源、防災および感染症といった地球規模課題の解決に向け、課題の解決につながる新たな知見・技術の獲得やイノベーションの創出、さらには開発途上国の自立的な研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築を図ることを目的としています。2022年度は、12件の事業が採択されました。2008年度の事業開始以降、採択事業数は計179件、実施国は53カ国となります。

2022年度「地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS)」新規採択案件の決定について：[https://www.jica.go.jp/press/2022/20220519\\_41.html](https://www.jica.go.jp/press/2022/20220519_41.html)

SATREP 概要：<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/science/summary/index.html>

<b>【本件に関する問い合わせ先】</b>
JICA ガバナンス・平和構築部 STI・DX 室 中島由希子
TEL 03-5226-8105 e-mail : gpgsd@jica.go.jp